

学校法人

# 愛知大学要覧 2011

# 目次

学校法人

## 愛知大学要覧 2011

02	「PROJECT2012」が意味するもの
	<b>設立趣意書</b>
03	愛知大学設立趣意書
04	大学の歴史／校名と校章について／歴代学長
	<b>沿革</b>
05-06	沿革
	<b>基本組織</b>
07	大学の組織
08	大学の構成／役員・評議員
	<b>教職員</b>
09-10	専任教員一覧／学部等別教員数／事務職員数
	<b>入学者・在学者・卒業生の状況</b>
11	2011年度 一般入学試験結果／一般入学試験志願者数の推移
12	学部・学科別学生定員と学生数
13	卒業者数／就職状況
14	2010年度卒業者就職状況
	<b>入学金・授業料</b>
14	2011年度学生納付金
	<b>施設・設備、教育研究環境</b>
15	豊橋キャンパス
16	名古屋キャンパス
17	車道キャンパス
18	新名古屋キャンパス
19	研究機関
20	附属機関
	<b>学生支援</b>
21-22	奨学金制度
23	学生支援機関・施設
24	クラブ・サークル名一覧
25	海外提携校・機関／外国人留学生数
26	資産状況／土地・建物面積

知の蓄積。

PROJECT  
2012

AICHI UNIVERSITY

知の展開。

## 「PROJECT2012」が意味するもの

愛知大学では2008年4月より「PROJECT2012」を実施しています。本PROJECTでは、新名古屋キャンパス(ささしま)の開校を中心として、豊橋キャンパスにおける文学部再編、地域政策学部の設置など、様々な施策を企画・実行してきました。

「第二の創学・建学」のスタートとも言える本PROJECTは、大学の新たな伝統創りの起点となるものであり、2012年4月に開設される新名古屋キャンパスはその道標と言えます。



※高層棟は2015年完成予定です。

## キャッチフレーズ「知の蓄積」「知の展開」が意味するもの

### 知の蓄積

愛知大学は、東亜同文書院(後に大学)の学問的伝統を継承し、中部地区唯一の旧制の法文系大学として戦後まもなく誕生しました。「知の蓄積」とは、現在に至るまでの学問と伝統の積み重ねを表しています。

### 知の展開

愛知大学は旧き「知」と新たな「知」を愛し、教育・研究に進んでいます。「知の展開」とは、歴史と蓄積された知を継承した新たな挑戦の連続による次の時代の伝統創りを表しています。

## 愛知大學設立趣意書（一九四六年十一月十五日創立）

我日本ハ長期ニ亘ル今次戦争ニ依テ物質的精神的ニ荒廢セシメラレ、殊ニ其結果ハ慘憺タル敗戦ヲ招キ、正ニ壊滅ノ危機ニ立ツト云フモ過言デハナイ。

今斯ル壊滅ヲ免レントスルナラバ、事ヲシテ茲ニ到ラシメタル舊キ日本ノ誤レル指導ト積弊トヲ一掃シ、新シキ日本トシテ更生スルノ道ヲ擇ブ外ナイノデアル。

寔ニ新日本ノ進ムベキ方向ハ舊來ノ軍國主義的、侵略主義的等の諸傾向ヲ一擲シ、社會的存在ノ全範域ニ亘ツテ民主主義ヲ實現シ自ラヲ文化、道義、平和ノ新國家トシテ再建スルコトニ依リ世界ノ一員トシテ、世界文化ト平和ト貢獻シ得ル如キモノヲラントスルコトデナケレバナライ。

斯ノ如キ我日本ノ新シキ出發ニ際シテ、當面解決ヲ要スル諸種ノ問題山積スルト雖モ就中學間、思想、文化ヲ旺ニ興シ、教養アル有爲ノ人材ヲ養成スルコトハ、其ノ急務ニシテ最モ基礎的ナルモノ、一ト言フベキデアラウ。我等相謀ツテ茲ニ愛知大學ヲ設立セントスル所以ハ、實ニ斯ル客觀的要請ニ呼應スルモノニシテ、一言ヲ以テ之ヲ謂ヘハ世界平和ニ寄與スベキ日本人材ノ興隆ト有爲ナル人材ヲ養成ト云フ點ニ盡キルノデアル。併シナガラコノ時ニ當リ、豫定スル如キ地方ニ於テ本大學ヲ開設セントスルニ就テハ自ラ特殊ノ意義ト使命モ亦無シトシナイ、即チ

第一、二本大學ノ所在地ハ之ヲ中部日本ノ一地方都市（愛知縣豊橋市）ニ置クノデアルガ、其ノ理由ハ現今我國ニ於テ學問文化ノ興隆ヲ計ランガ爲メニ其大都市ヘノ偏重集積ヲ排シ地方分散ヲ望マントノ趣旨ヲ活カサントスル含蓄ニ外ナラナイ、周知ノ如ク名古屋市中心トスル中部日本ハ未ダ法文科系ノ大學ヲ見ザルトコロ、此地方ニハ斯ル文化機關ノ設置ヲ要望スルコト切ナルモノガアル、愛知大學ハ此要望ニ應ヘ學問ノ研究ヲ旺ニスルト共ニ周圍ヘノ文化的影響ヲ意義アラシメントスルモノデアル。

第二、世界文化ト平和ニ寄與スベキ新日本ノ建設ニ適スル人材ハ國際的教養ト視野ヲ持ツコト最モ必要ナル資格ノ一ト思惟セラル、事情ニ鑑ミ、本大學トシテハ一般の學問ノ基礎ノ上ニ各國政治經濟文化ノ研究ニ重點ヲ置ク科目ヲ設ケ之ヲ必須科目トシ謂ハバ國際文化大學ノ如キ性格ヲ其ノ特徴タラシメントスル意圖ヲ有スルモノデアル、斯ノ如キ大學ハ我國ノ未ダ有セザルトコロ本學ハ此點ニ新機軸ヲ創始セントスルモノデアル。更ニ

第三、二本大學ハ第一年度ニ於テ予科全學級ヲ第二年度ニ於テ學部全學年ヲ一時ニ開設シ以テ中部日本出身學徒男女ノ遠隔ノ地ニ學ブ者ニシテ時局下就學不便ノ爲メ轉學セントスル者ノ要望ニ應スルト共ニ外地ノ大學専門學校ニ在籍スル學徒ノ轉入學ノ困難ヲモ緩和セントスルモノデアル。外地引揚學徒ハ現下轉入學困難ナル事情ノ下ニ苦惱シツ、アルノミナラズ比較的ニ國際的智識欲旺盛ナルヲ以テ之レヲ本學ニ收容シ思想的學問的ニ再教育スルコトハ又本學ノ性格ニ相應ハシキ一任務ト思料セラルモノデアル。

以上ノ諸見地ヨリ我等ハ微力ヲモ顧ミズ茲ニ愛知大學設立ノ舉ニ出テントス、我等ノ眞意ガ各方面ニ於テ正シク理解セラレ、此企圖ニ對シテ支援ト鞭撻トノ與ヘラレントヲ念願シア止マナイ次第デアル。





## ■ 大学の歴史

「東亜同文書院(後に大学)」は、1901年中国上海に設置され、日本の海外高等教育機関として最も古い歴史をもちます。当時貴族院議長であった近衛篤磨公が、東亜同文会を設立。東亜同文会の理念は教育文化事業によって日中友好提携を成し遂げることにあり、そのための人材育成が東亜同文書院大学の設立目的でした。後に首相となった近衛文磨公も1926年から5年あまり院長に就任しています。

アジア随一の国際都市であり、当時の文化や流行の発信地でもあった上海で、学問の自由を尊ぶ校風のもと、中国・アジア重視の国際人を養成。しかし、日本の敗戦によって東亜同文書院大学は中国に接収、半世紀にわたる歴史の幕を閉じたのです。その折、同大学最後の学長を務めた本間喜一(後に最高裁判所事務総長)は、新たな大学の設立を決意。1946年5月、本間学長の呼びかけに東亜同文書院大学等の教職員、学生の多くが集い、同年11月15日に愛知大学は中部地区唯一の旧制の法文系大学として誕生しました。1949年4月からは法経学部(法学科・経済学科)に文学部(社会学科)を加えた2学部3学科で新制大学へと移行、今日の発展に至ったのです。

建学の精神として「世界文化と平和への貢献」、「国際的教養と視野をもった人材の育成」、「地域社会への貢献」を掲げ、設立当初より国際文化大学をめざしてきた愛知大学は今、21世紀にはばたく真の国際人の育成を担っています。

## ■ 校名と校章について

『愛知大学』の校名はフィロソフィア、つまり「知=智を愛する」という言葉に語源をもつもので、単なる場所的な発想ではありません。愛知という言葉の中には、創立者たちの「本学をして永遠に智を愛する者たちの殿堂たらしめよ」との崇高な理念が込められているのです。

校章は、愛知大学の「愛」と「大」を組み合わせて図式化したもので、簡素な中にも建学の精神の下、たゆまぬ歩みを続ける決意と誇りを表現しています。制定は昭和22年6月。制作は高須光治氏(岸田劉生氏門下)の原案。



## ■ 歴代学長

	就 任	退 任
初代学長 林 毅 陸	1946年 11月	1950年 6月
二代学長 本間 喜一	1950年 6月	1955年 11月
三代学長 小岩井 浄	1955年 11月	1959年 2月
四代学長 本間 喜一	1959年 4月	1963年 4月
五代学長 脇坂 雄治	1963年 4月	1967年 3月
六代学長 玉 城 肇	1967年 4月	1969年 5月
七代学長 山田 文雄	1969年 6月	1970年 5月
八代学長 細迫 朝夫	1970年 5月	1972年 2月

	就 任	退 任
九代学長 久曾神 昇	1972年 5月	1984年 3月
十代学長 浜 田 稔	1984年 4月	1987年 9月
十一代学長 石井 吉也	1987年 9月	1988年 3月
十二代学長 牧野 由朗	1988年 4月	1992年 3月
十三代学長 石井 吉也	1992年 4月	1999年 11月
十四代学長 武田 信照	1999年 11月	2007年 11月
十五代学長 堀 彰 三	2007年 11月	2008年 5月
現学長 佐藤 元彦	2008年 8月	

年 月	概 要
1946年 11月	財団法人愛知大学を創立 (1946年11月15日 旧制大学) 愛知県豊橋市の南部旧豊橋陸軍予備士官学校跡に元東亜同文書院大学、元京城帝国大学、元台北帝国大学等の教授を中心スタッフとして旧大学令により愛知大学を創立
1947年 1月	予科開設
1947年 4月	法経学部開設 法政科、経済科
1948年 6月	国際問題研究所を設立
1949年 4月	学制改革により新制大学設置 法経学部法学科、経済学科 文学部社会学科
1950年 4月	文学部に文学科を設置 短期大学部法経科第2部(豊橋校舎・車道校舎)、 文科第2部(豊橋校舎)を設置
1951年 3月	私立学校法の施行に伴い、財団法人愛知大学 を学校法人愛知大学に組織変更
1951年 5月	車道校舎移転拡張 名古屋市東区往還町19番地(1981年、東区筒井二丁目10番31号に町名変更)の元中京女子短期大学の校地及び校舎を購入し、現在の車道校舎の基礎を築く
1951年 6月	総合郷土研究所を設立
1953年 3月	中部地方産業研究所を設立
1953年 4月	文学部文学科一般文学専攻を仏文学専攻に改組 大学院法学研究科公法学専攻修士課程、経済学研究科経済学専攻修士課程を設置
1955年 4月	車道校舎 法経学部教養課程を開講
1956年 4月	車道校舎の短期大学部法経科第2部を廃止し、 法経学部第2部法学科(夜間)、経済学科(夜間)を設置 文学部に史学科、文学専攻科国文学専攻を設置
1957年 4月	大学院に法学研究科私法学専攻修士課程を設置
1958年 4月	文学部に哲学科を設置
1959年 4月	豊橋校舎の短期大学部文科第2部を廃止し、文科(女子)を設置
1961年 4月	豊橋校舎に短期大学部生活科(女子)を設置
1961年 10月	車道校舎に法経学部専門課程を開講
1962年 4月	経営会計研究所(1990年に「経営総合科学研究所」に改称)を設立
1963年 4月	法経学部第1部に経営学科を設置及び経済学科を定員増 大学院に法学研究科私法学専攻博士後期課程設置

年 月	概 要
1966年 4月	法経学部第2部法学科・経済学科を定員増
1974年 4月	短期大学部文科(女子)を定員増
1977年 4月	大学院に経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1978年 4月	大学院に経済学研究科経済学専攻博士後期課程設置
1979年 4月	大学院に経営学研究科経営学専攻博士後期課程設置 短期大学部文科、生活科を定員増
1979年 6月	豊橋校舎の短期大学部法経科第2部を廃止 西加茂郡三好町に約20万㎡の校地を確保
1987年 4月	文学部、法経学部第1部期間付定員増(420名) (1987年度－1992年度)
1988年 4月	名古屋校舎新キャンパス開校(西加茂郡三好町) 短期大学部に留学生別科、別科英語専修、別科生活環境専修を開設
1989年 4月	経済学部1部、経済学部2部、法学部1部、法学部2部、経営学部を設置(法経学部第1部及び同第2部の学生募集停止) 大学院法学研究科、経営学研究科を名古屋校舎へ移転
1990年 4月	短期大学部期間付定員増(100名) (1990年度－1998年度)
1991年 4月	文学部、経済学部1部、法学部1部及び経営学部期間付定員増(270名)(1991年度－1999年度) 大学院に中国研究科中国研究専攻、文学研究科日本文化専攻・地域社会システム専攻・欧米文化専攻修士課程を設置
1992年 4月	文学部文学専攻科国文学専攻を廃止
1993年 4月	文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部期間付定員(420名)の期間延長(1993年度－1999年度) 大学院に文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程を設置
1993年 5月	東亜同文書院大学記念センターを設立
1994年 4月	大学院に中国研究科中国研究専攻、文学研究科日本文化専攻・欧米文化専攻博士後期課程を設置
1995年 4月	文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部に3年次編入学定員を設定(130名)
1997年 4月	現代中国学部現代中国学科を設置 短期大学部別科英語専修及び生活環境専修を廃止
1997年 12月	法経学部第1部及び同第2部を廃止

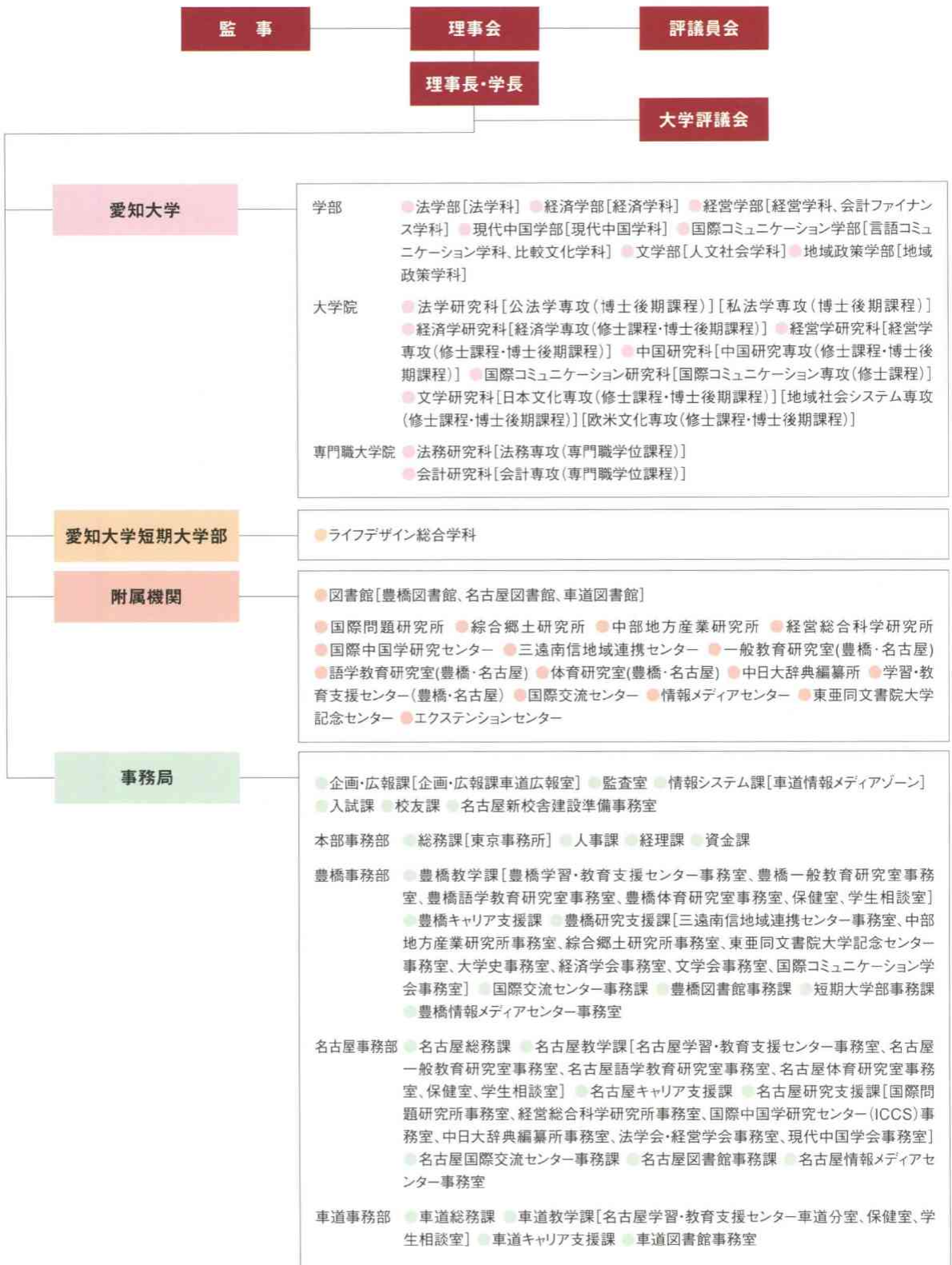
年 月	概 要
1998年 4月	教養部を廃止 国際コミュニケーション学部言語コミュニケーション学科、比較文化学科を設置
1999年 4月	文学部文学科を改組し、日本・中国文学科、欧米文学科を設置
2000年 4月	短期大学部文科を言語文化学科に、生活科を現代生活学科に名称変更 文学部、経済学部1部、法学部1部、経営学部期間付定員(減員計画)の延長(2000年度－2004年度) 短期大学部期間付定員(減員計画)の延長(2000年度－2004年度)
2001年 4月	大学院に法学研究科公法学専攻博士後期課程を設置
2002年 4月	大学院に国際コミュニケーション研究科国際コミュニケーション専攻修士課程を設置 短期大学部留学生別科を廃止し、大学に外国人留学生別科を開設
2002年 7月	株式会社エー・ユー・エスを設立
2002年 10月	国際中国学研究センター(ICCS)を設立
2004年 4月	車道校舎新キャンパス開校(名古屋市東区筒井) 経済学部1部を経済学部、法学部1部を法学部に名称変更 経済学部2部経済学科、法学部2部法学科、国際コミュニケーション学部比較文化学科(夜間主コース)の学生募集停止及び同収容定員を昼間学部へ振替 文学部、経済学部、法学部、経営学部の期間付定員廃止にもとづく入学定員減 大学院に法務研究科法務専攻(専門職大学院)を設置 大学院中国研究科中国研究専攻博士後期課程の入学定員変更(15名)、法学研究科修士課程公法学専攻及び私法学専攻の学生募集停止
2004年 9月	短期大学部ライフデザイン総合学科(構想中)が(財)短期大学基準協会から地域総合科学科として適格の認定を受ける
2004年 10月	三遠南信地域連携センターを設立
2005年 3月	大学院法学研究科博士前期課程(修士課程)公法学専攻及び私法学専攻を廃止
2005年 4月	文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、欧米文学科を改組し、文学部人文社会学科を設置 経営学部経営学科の定員の一部を振り替え、経営学部会計ファイナンス学科を設置 短期大学部言語文化学科、現代生活学科を改組し、短期大学部ライフデザイン総合学科を設置
2006年 3月	文学部文学科及び外国人留学生別科を廃止

年 月	概 要
2006年 4月	大学院に会計研究科会計専攻(専門職大学院)を設置 愛知大学孔子学院を設置(豊橋・車道)
2007年 3月	短期大学部言語文化学科及び現代生活学科を廃止
2008年 3月	愛知大学が(財)大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、適合と認定(2015年3月31日まで) 法科大学院が(財)日弁連法務研究財団の認証評価を受けた
2009年 9月	短期大学部ライフデザイン総合学科が(財)短期大学基準協会による地域総合科学科達成度評価を受け、適格と認定
2009年 10月	愛知リーガルクリニック法律事務所を開設
2010年 3月	新名古屋校舎第1期工事着工
2011年 3月	法学部2部法学科、経済学部2部経済学科を廃止 短期大学部が(財)短期大学基準協会による第三者評価を受け、適格と認定(2018年3月31日まで) 会計大学院が(財)大学基準協会による認証評価を受け、適合と認定(2016年3月31日まで)
2011年 4月	地域政策学部地域政策学科を設置
2011年 5月	文学部欧米文学科を廃止



# 基本組織

## ■ 大学の組織 (2011年4月1日現在)





## ■ 大学の構成 (2011年4月1日現在)

愛知大学の構成		附 属 機 関
豊橋校舎	経済学部……………経済学科[現代経済、経済政策、グローバル経済、社会経済]	豊橋図書館、総合郷土研究所、中部地方産業研究所、三遠南信地域連携センター、豊橋一般教育研究室、豊橋語学教育研究室、豊橋体育研究室、豊橋学習・教育支援センター、国際交流センター、豊橋情報メディアセンター、東亜同文書院大学記念センター、エクステンションセンター
	国際コミュニケーション学部……………言語コミュニケーション学科、比較文化学科	
	文学部……………人文社会学科[現代文化、社会学、心理学、歴史・地理学、日本語日本文学、欧米言語文化]	
	地域政策学部……………地域政策学科[公共政策、地域産業、まちづくり、地域文化、健康・スポーツ]	
	短期大学部……………ライフデザイン総合学科	
名古屋校舎	大学院……………経済学研究科[経済学専攻(修士課程・博士後期課程)]、国際コミュニケーション研究科[国際コミュニケーション専攻(修士課程)]、文学研究科[日本文化専攻(修士課程・博士後期課程)、地域社会システム専攻(修士課程・博士後期課程)、欧米文化専攻(修士課程・博士後期課程)]	名古屋図書館、国際問題研究所、経営総合科学研究所、国際中国学研究センター、名古屋一般教育研究室、名古屋語学教育研究室、名古屋体育研究室、中日大辞典編纂所、名古屋学習・教育支援センター、名古屋国際交流センター、名古屋情報メディアセンター
	法学部(1・2年次)……………法学科[司法、行政、企業] 経営学部……………経営学科[ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネス]、会計ファイナンス学科[アカウンティング、ファイナンス] 現代中国学部……………現代中国学科[ビジネス、言語文化、国際関係] 大学院……………法学研究科[公法学専攻(博士後期課程)、私法学専攻(博士後期課程)]、経営学研究科[経営学専攻(修士課程・博士後期課程)]、中国研究科[中国研究専攻(修士課程・博士後期課程)]	
車道校舎	法学部(3・4年次)……………法学科[司法、行政、企業] 法科大学院……………法務研究科[法務専攻(専門職学位課程)] 会計大学院……………会計研究科[会計専攻(専門職学位課程)]	車道図書館、名古屋学習・教育支援センター 車道分室、車道情報メディアゾーン、エクステンションセンター

## ■ 役員・評議員 (2011年6月1日現在)

職 名	氏 名	現 職
理事長	佐藤 元彦	愛知大学長
理 事 (常務理事)	功刀 由紀子	愛知大学副学長(教学担当)
	名和 聖高	愛知大学副学長(経営担当)
	鈴木 修	愛知大学事務局長
	伊東 利勝	愛知大学文学部長
理 事	沈 徹	愛知大学経済学部長
	広瀬 裕樹	愛知大学法学部長
	川井 伸一	愛知大学経営学部長
	砂山 幸雄	愛知大学現代中国学部長
	鈴木 規夫	愛知大学国際コミュニケーション学部長
	渡辺 和敏	愛知大学地域政策学部長
	黒柳 孝夫	愛知大学短期大学部長

職 名	氏 名	現 職
理 事	安井 善宏	愛知大学同窓会長
	清水 正一	愛知大学同窓生
	佐原 光一	豊橋市長
	山田 正	(財)霞山会理事長
	中村 捷二	会社役員
	小川 悦雄	愛知県副知事
	河村 たかし	名古屋市長
	鈴木 重文	元会社役員
監 事	酒井 強次	愛知大学常勤監事
	松井 昭	公認会計士
	岸本 恵次郎	元学校法人職員

評議員会	
佐藤 元彦	愛知大学長
功刀 由紀子	愛知大学副学長(教学担当)
名和 聖高	愛知大学副学長(経営担当)
鈴木 修	愛知大学事務局長
伊東 利勝	愛知大学文学部長
沈 徹	愛知大学経済学部長
広瀬 裕樹	愛知大学法学部長
川井 伸一	愛知大学経営学部長
砂山 幸雄	愛知大学現代中国学部長
鈴木 規夫	愛知大学国際コミュニケーション学部長
渡辺 和敏	愛知大学地域政策学部長
黒柳 孝夫	愛知大学短期大学部長
各務 一徳	愛知大学本部事務部長

評議員会	
熊谷 正人	愛知大学事務職員
堀 真人	愛知大学事務職員
水谷 財基	愛知大学事務職員
藤本 茂	同窓会役員
加藤 満憲	同窓会役員
八塚 哲子	同窓会役員
鎌谷 欣吾	同窓会役員
高井 和伸	同窓会役員
岩間 毅	同窓会役員
土井 義昭	同窓会役員
荒木 仁子	同窓会役員
堀田 久富	同窓会役員
八木 好郎	同窓会役員
大島 俊明	後援会役員

評議員会	
池本 和実	後援会役員
山下 直美	後援会役員
安井 善宏	愛知大学同窓会長
清水 正一	愛知大学同窓生
佐原 光一	豊橋市長
山田 正	(財)霞山会理事長
中村 捷二	会社役員
小川 悦雄	愛知県副知事
河村 たかし	名古屋市長
鈴木 重文	元会社役員
宮入 興一	愛知大学教員
浅野 俊夫	愛知大学教員
矢田 博士	愛知大学教員
樋口 義治	愛知大学教員

評議員会	
山田 邦明	愛知大学教員
李 春利	愛知大学教員
竹内 晴夫	愛知大学教員
長峯 信彦	愛知大学教員
西野 基継	愛知大学教員
田川 光照	愛知大学教員
富増 和彦	愛知大学教員
安部 悟	愛知大学教員
河辺 一郎	愛知大学教員
河野 眞	愛知大学教員
塚本 倫久	愛知大学教員
阿部 聖	愛知大学教員
早川 勇	愛知大学教員
谷 彰	愛知大学教員

## ■ 専任教員一覧 (2011年4月1日現在)

### 法学部

#### 教授

大川 四郎  
大林 文敏  
加藤 錠治  
小島 透  
John Hamilton  
杉浦 市郎  
田中 正人  
常石 希望  
鄭 高咏  
中尾 浩  
長峯 信彦  
西野 基継  
広瀬 裕樹  
村瀬 智彦

#### 准教授

入江 容子  
北尾 泰幸  
木村 義和  
小坂 敦子  
小林 真紀  
鈴木 清貴  
多田 哲也  
永戸 力  
前嶋 匠  
松井 吉光  
山下 和也  
山本 未来  
李 秀宓

#### 助教

上杉 めぐみ  
金井 幸子  
田中 清久  
西本 寛

### 経済学部

#### 教授

阿部 武彦  
李 泰王  
池森 均  
伊藤 勲  
伊藤 靖徳  
大澤 正治  
桂 秀行  
國崎 稔  
栗原 裕  
桑島 由美子  
小林 慎哉  
佐藤 元彦  
竹内 晴夫

田中 良明

沈 徹

宮入 興一

宮沢 哲男

森 久男

藪内 繁己

山田 雅俊

李 春利

#### 准教授

井口 泰秀  
打田 委千弘  
葛谷 登  
小林 弥生  
清水 伸子  
杉浦 裕晃  
三川 克俊

#### 助教

塚本 恭章  
生原 匠  
早川 大介

### 経営学部

#### 経営学科

#### 教授

有澤 健治  
川井 伸一  
神頭 広好  
田川 克生  
田川 光照  
玉置 光司  
為廣 吉弘  
村松 幸廣  
矢田 博士  
山田 晶子

#### 准教授

石井 里枝  
岩田 員典  
太田 幸治  
小野 良太  
田中 英式  
土屋 仁志  
永田 孝夫  
古川 邦之  
本多 毅  
Malcolm Duff

#### 助教

山本 大造  
毛利 元昭  
会計ファイナンス学科  
教授  
伊藤 清己

富増 和彦

架谷 真知子

望月 恒男

盛田 良久

山下 裕企

#### 准教授

池田 幸典  
齋藤 毅  
島田 了  
滝沢 宏人  
水野 孝彦

#### 助教

石原 知英  
一木 毅文  
富村 圭  
吉本 理沙

### 現代中国学部

#### 教授

安部 悟  
加々美 光行  
河辺 一郎

黄 英哲

高 明潔

砂山 幸雄

薛 鳴

高橋 五郎

土橋 喜

馬場 毅

樋泉 克夫

古澤 賢治

松岡 弘記

松岡 正子

三好 章

劉 柏林

#### 准教授

阿部 宏忠  
梅田 康子  
川村 亜樹  
木島 史雄  
唐 燕霞  
藤森 猛  
吉川 剛

#### 助教(嘱託助教II)

徐 秀兵  
李 志傑

### 国際コミュニケーション学部

#### 言語コミュニケーション学科

#### 教授

Ivan Cosby

Jon Blundell

田本 健一

塚本 鋭司

塚本 倫久

Thomas Michael Gross

Benabderrahmane Lahcene

#### 准教授

Angus Macindoe

磯野 徹

梅垣 敦紀

塩山 正純

西部 真由美

#### 助教

鎌倉 義士

助教(嘱託助教II)

Andrew Kean

Carolyn E. Fish

Sian Davis Edwards

#### 比較文化学科

#### 教授

河野 眞

周星

鈴木 規夫

鈴木 秀治

高原 隆

新津 嗣郎

樋野 芳雄

片 茂永

広木 詔三

山本 雅子

#### 准教授

岩田 晋典

Edward K. Chan

加納 寛

Natasha C. Vaubel

助教(嘱託助教II)

Jean Marie Simonian

Susan Sullivan

### 文学部

#### 教授

浅野 俊夫

有園 正一郎

伊集院 利明

伊東 利勝

宇佐美 一博

臼田 真佐子

漆谷 広樹

海老澤 善一

櫻村 愛子

片岡 邦好

交野 正芳

神谷 智

木之下 隆夫

小山 澄夫

Simon George Sanada

沢井 耐三

鈴木 康志

鈴木 立子

Serge Giunta

武田 圭太

土屋 洋二

時実 象一

永瀬 美智子

樋口 義治

三野 豊浩

山田 邦明

和田 明美

渡邊 正

#### 准教授

加藤 一己

鎌倉 利光

河合 まゆみ

小島 基洋

下野 正俊

土屋 葉

長井 千秋

中尾 充良

山本 昭

#### 助教

青島 陽子

井藤 寛志

加島 大輔

近藤 暁夫

廣瀬 憲雄

藤井 貴志

吉岡 昌子

#### 助教(嘱託助教II)

Anthony Edward Young

Loic Renoud

### 地域政策学部

#### 教授

阿部 聖

荒川 清秀

今里 佳奈子

岩崎 正弥

印南 敏秀

小津 秀晴

沓掛 俊夫

功刀 由紀子

蔣 湧

鈴木 誠

高橋 貴

張 筱平

戸田 敏行

中崎 温子

名和 聖高

新井野 洋一

西堀 喜久夫

西村 正広

早川 勇

渡辺 和敏

#### 准教授

元 晶煜

竹田 聡

野田 遊

湯川 治敏

#### 助教

尼崎 光洋

駒木 伸比古

助教(嘱託助教II)

澤田 貴行

### 短期大学部

#### 教授

川端 朋広

黒柳 孝夫

須川 妙子

須田 淳一

谷 彰

武藤 明弘

安 智史

龍 昌治

Laura Lee Kusaka

#### 准教授

岡田 圭二

迫田 耕作

#### 助教

森川 竜哉

### 豊橋語学教育研究室

#### 助教(嘱託助教I)

Aaron Fox

榊山 ケイト

Zane Ritchie

Mark Gerrard

## 名古屋語学教育研究室

助教(嘱託助教I)

David Toohey  
Nicholas Bradley  
林 姿穂  
古荘 智子

## 大学院

法学研究科  
(公法学専攻)

教授

岩間 康夫  
大林 文敏  
春日 修  
久須本 かおり  
田中 正人  
長峯 信彦  
西野 基継

法学研究科  
(私法学専攻)

教授

片野 三郎  
杉浦 市郎

経済学研究科

教授

阿部 聖  
李 泰王  
伊藤 靖徳  
岩崎 正弥  
大澤 正治  
桂 秀行  
沓掛 俊夫

國崎 稔  
栗原 裕  
小林 慎哉  
佐藤 元彦  
蔣 湧  
竹内 晴夫  
田中 良明  
沈 徹

西村 正広  
宮入 興一  
藪内 繁己  
山田 雅俊  
渡辺 和敏

准教授

井口 泰秀  
打田 委千弘  
小林 弥生  
杉浦 裕晃

経営学研究科

教授

伊藤 清己  
川井 伸一  
神頭 広好  
田川 克生  
玉置 光司  
為廣 吉弘  
富増 和彦  
星野 靖雄  
村松 幸廣  
盛田 良久

准教授

岩田 員典

太田 幸治  
小野 良太  
齋藤 毅  
田中 英式  
山本 大造

中国研究科

教授

荒川 清秀  
伊東 利勝  
宇佐美 一博  
加々美 光行  
河辺 一郎  
桑島 由美子

黄 英哲  
高 明潔  
小山 澄夫  
周星  
鈴木 立子  
高橋 五郎  
馬場 毅  
古澤 賢治  
松岡 正子  
三好 章  
森 久男  
李 春利

准教授

木島 史雄  
唐 燕霞  
長井 千秋

国際コミュニケーション研究科

教授

Ivan Cosby

河野 眞  
Jon Blundell  
鈴木 規夫  
須田 淳一  
高橋 貴  
高原 隆  
田本 健一  
塚本 鋭司  
塚本 倫久  
名和 聖高  
架谷 真知子

片 茂永  
山本 雅子

准教授

Angus Macindoe  
梅田 康子  
加納 寛  
小坂 敦子  
清水 伸子

文学研究科  
(日本文化専攻)

教授

印南 敏秀  
漆谷 広樹  
神谷 智  
沢井 耐三  
安 智史  
山田 邦明  
和田 明美

文学研究科  
(地域社会システム専攻)

教授

有薗 正一郎

樫村 愛子  
交野 正芳  
武田 圭太  
樋口 義治  
宮沢 哲男  
渡邊 正

准教授

加藤 一己

文学研究科  
(欧米文化専攻)

教授

浅野 俊夫  
伊集院 利明  
伊藤 勲  
海老澤 善一  
片岡 邦好  
Simon George Sanada

鈴木 康志

Serge Giunta

土屋 洋二

Thomas Michael Gross

永瀬 美智子

早川 勇

山田 晶子

准教授

下野 正俊

中尾 充良

浅井 正

専門職大学院

法務研究科

教授

浅井 正

石井 三一  
石口 修  
伊藤 博文  
岩間 康夫  
大林 文敏  
落合 俊行  
春日 修

片野 三郎

久須本 かおり

小林 俊明

藤本 瑞穂

三木 浩太郎

村山 智子

森山 文昭

准教授

川崎 修一

会計研究科

教授

伊藤 清己

大槻 隆

加藤 義幸

粥川 和枝

栗濱 竜一郎

鈴木 孝一

中 善宏

林 隆一

星野 靖雄

望月 恒男

盛田 良久

准教授

田子 晃

※各教員の専門分野、研究業績は愛知大学公式ホームページ(<http://www.aichi-u.ac.jp/>)をご覧ください。

## ■ 学部等別教員数 (2011年4月1日現在)

学 部 等	教授	准教授	助教	計
法 学 部	14	13	4	31
経 済 学 部	21	7	3	31
経 営 学 部	16	16	5	37
現 代 中 国 学 部	16	7	2	25
国際コミュニケーション学部	17	9	6	32
文 学 部	28	9	9	46
地 域 政 策 学 部	20	4	3	27

学 部 等	教授	准教授	助教	計
短 期 大 学 部	9	2	1	12
豊橋語学教育研究室	0	0	4	4
名古屋語学教育研究室	0	0	4	4
法 務 研 究 科	15	1	0	16
会 計 研 究 科	11	1	0	12
総 数	167	69	41	277

※法務研究科の教員数のうち教授1名は法学部との併任。  
※会計研究科の教員数のうち教授3名は経営学部との併任。

## ■ 事務職員数 (2011年4月1日現在)

校 舎	豊橋校舎	名古屋校舎	車道校舎	総 数
専 任	78	36	35	149



# 入学者・在学者・卒業生の状況

## ■ 2011年度 一般入学試験結果

(単位:人)

学部・学科		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
学部	法学部 法学科	212	2,530	2,498	980	2.5
	経済学部 経済学科	210	2,575	2,514	999	2.5
	経営学部 経営学科	167	2,628	2,587	695	3.7
	経営学部 会計ファイナンス学科	70	839	828	259	3.2
	学部合計	237	3,467	3,415	954	3.6
	現代中国学部 現代中国学科	95	750	735	293	2.5
	言語コミュニケーション学科	75	1,177	1,170	407	2.9
	国際コミュニケーション学部 比較文化学科	68	810	803	239	3.4
	学部合計	143	1,987	1,973	646	3.1
	文学部 人文社会学科	230	2,557	2,508	1,090	2.3
短期大学部	地域政策学部 地域政策学科	146	1,511	1,489	533	2.8
	学部合計	1,273	15,377	15,132	5,495	2.8
短期大学部 ライフデザイン総合学科		70	142	134	134	1.0
短期大学部合計		70	142	134	134	1.0

※競争率は、受験者数÷合格者で算出。

## ■ 一般入学試験志願者数の推移

(単位:人)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
学部	13,673	13,402	14,210	15,405	15,377
短期大学部	235	195	153	183	142
大学合計	13,908	13,597	14,363	15,588	15,519



■ 学部・学科別学生定員と学生数 (2011年5月1日現在)

(単位:人)

学部・学科等				入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計	
法学部		法学科		315	1,260	385	379	361	442	1,567	
経済学部		経済学科		330	1,455	392	404	422	548	1,766	
経営学部		経営学科		250	1,000	322	313	265	342	1,242	
		会計ファイナンス学科		125	500	159	141	157	181	638	
現代中国学部		現代中国学科		180	720	220	206	223	257	906	
国際コミュニケーション学部		言語コミュニケーション学科		115	460	161	113	136	153	563	
		比較文化学科		115	460	141	120	126	186	573	
文学部		哲学科		—	—	—	—	—	3	3	
		社会学科		—	—	—	—	—	2	2	
		史学科		—	—	—	—	—	2	2	
		日本・中国文学科		—	—	—	—	—	1	1	
		欧米文学科		—	—	—	—	—	0	0	
		人文社会学科		325	1,300	395	352	371	455	1,573	
地域政策学部		地域政策学科		220	220	285	—	—	—	285	
学部合計				1,975	7,375	2,460	2,028	2,061	2,572	9,121	
愛知大学	修士課程	経済学研究科	経済学専攻	25	50	1	5	—	—	6	
		経営学研究科	経営学専攻	15	30	4	8	—	—	12	
		中国研究科	中国研究専攻	15	30	4	16	—	—	20	
		国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	15	30	5	9	—	—	14	
		博士前期課程	日本文化専攻	10	20	3	4	—	—	7	
			文学研究科	地域社会システム専攻	10	20	0	1	—	—	1
			欧米文化専攻	10	20	2	4	—	—	6	
	小計			100	200	19	47	—	—	66	
	大学院	法学研究科	公法学専攻	3	9	0	0	0	—	0	
			私法学専攻	5	15	0	0	0	—	0	
		博士後期課程	経済学研究科	経済学専攻	5	15	0	0	0	—	0
			経営学研究科	経営学専攻	5	15	3	1	0	—	4
			中国研究科	中国研究専攻	15	45	13	13	48	—	74
		文学研究科	日本文化専攻	2	6	0	1	0	—	1	
			地域社会システム専攻	2	6	0	0	1	—	1	
			欧米文化専攻	2	6	0	0	0	—	0	
		小計			39	117	16	15	49	—	80
	大学院合計				139	317	35	62	49	—	146
	専門職大学院	法科大学院	法務研究科	未修者コース(3年制)	30	110	15	25	37	—	77
既修者コース(2年制)				4			10	—	—	14	
会計大学院		会計研究科		35	70	21	18	—	—	39	
専門職大学院合計				65	180	40	53	37	—	130	
愛知大学合計				2,179	7,872	2,535	2,143	2,147	2,572	9,397	
短期大学部	ライフデザイン総合学科			200	400	140	209	—	—	349	
	短期大学部合計			200	400	140	209	—	—	349	
総計				2,379	8,272	2,675	2,352	2,147	2,572	9,746	

注1) 2005年4月より文学部哲学科、社会学科、史学科、日本・中国文学科、欧米文学科を改組し、人文社会学科を設置。経営学部会計ファイナンス学科を設置。  
 注2) 2011年4月より地域政策学部地域政策学科を設置。経済学部定員減(△45名)。法務研究科定員減(△10名)。

# 入学者・在学者・卒業生の状況

## ■ 卒業生数

### 愛知大学

卒業年度	卒業生数	卒業年度	卒業生数
旧 制		1980	2,179
1947	13	1981	2,093
1948	18	1982	2,076
1949	124	1983	1,959
1950	130	1984	2,028
1951	185	1985	2,118
1952	297	1986	2,009
新 制		1987	2,084
1952	473	1988	1,904
1953	338	1989	1,847
1954	446	1990	1,964
1955	504	1991	1,986
1956	477	1992	2,057
1957	584	1993	1,980
1958	672	1994	2,249
1959	869	1995	2,054
1960	888	1996	2,226
1961	852	1997	2,378
1962	925	1998	2,132
1963	1,093	1999	2,113
1964	1,372	2000	2,294
1965	1,706	2001	2,482
1966	1,991	2002	2,380
1967	1,886	2003	2,345
1968	2,042	2004	2,325
1969	2,099	2005	2,323
1970	2,247	2006	2,243
1971	2,361	2007	1,919
1972	2,062	2008	1,977
1973	1,984	2009	2,086
1974	2,269	2010	2,013
1975	2,179	合計	106,901
1976	2,200	※2000年度より9月卒業生数を含む。	
1977	2,177		
1978	2,290		
1979	2,092		

### 愛知大学短期大学部

卒業年度	卒業生数	卒業年度	卒業生数
1951	371	1987	383
1952	316	1988	373
1953	355	1989	353
1954	290	1990	371
1955	352	1991	410
1956	248	1992	409
1957	79	1993	374
1958	64	1994	483
1959	59	1995	389
1960	113	1996	413
1961	122	1997	395
1962	169	1998	443
1963	262	1999	366
1964	350	2000	341
1965	329	2001	371
1966	514	2002	318
1967	417	2003	326
1968	421	2004	285
1969	456	2005	242
1970	436	2006	238
1971	388	2007	232
1972	399	2008	226
1973	402	2009	215
1974	387	2010	217
1975	417	合計	20,088
1976	388	※1996年度より9月卒業生数を含む。	
1977	432		
1978	355		
1979	365		
1980	356		
1981	390		
1982	355		
1983	369		
1984	402		
1985	311		
1986	476		

### 文学専攻科

卒業年度	卒業生数
1956	5
1957	5
1958	4
1959	5
1960	5
1961	6
1962	3
1963	3
1964	6
1965	3
1966	6
1967	3
1968	2
1969	3
1970	5
1971	5
1972	3
1973	8
1974	7
1975	3
1976	3
1977	7
1978	6
1979	2
1980	0
1981	5
1982	1
1983	3
1984	4
1985	4
1986	1
1987	4
1988	2
1989	3
1990	5
1991	1
1992	廃止
合計	141
※1996年度より9月卒業生数を含む。	

### 大学院

卒業年度	卒業生数	卒業年度	卒業生数
1955	20	1991	23
1956	10	1992	23
1957	12	1993	45
1958	8	1994	51
1959	14	1995	62
1960	9	1996	82
1961	15	1997	67
1962	6	1998	74
1963	18	1999	75
1964	18	2000	71
1965	18	2001	77
1966	31	2002	74
1967	39	2003	63
1968	39	2004	57
1969	30	2005	54
1970	43	2006	55
1971	23	2007	43
1972	29	2008	40
1973	40	2009	46
1974	43	2010	44
1975	32	合計	1,967
1976	31	※2000年度より9月卒業生数を含む。	
1977	27		
1978	32		
1979	26		
1980	37		
1981	29		
1982	21		
1983	15		
1984	20		
1985	18		
1986	21		
1987	21		
1988	11		
1989	18		
1990	17		

### 専門職大学院

卒業年度	卒業生数
2005	19
2006	26
2007	59
2008	50
2009	60
2010	43
合計	257

## ■ 就職状況 (2006年度～2010年度)

(単位:人)

		2006	2007	2008	2009	2010
学 部	就職決定者数	1,667	1,554	1,636	1,635	1,542
	就職希望者数	1,701	1,581	1,673	1,759	1,664
	就職内定率(※1)	98.0%	98.3%	97.8%	93.0%	92.7%
	進学者数(大学院)	43	45	44	52	53
	卒業生数	2,054	1,873	1,967	2,085	2,013
	就職率(※2)	82.9%	85.0%	85.1%	80.4%	78.7%
短 大	就職決定者数	170	181	162	125	127
	就職希望者数	178	187	169	136	157
	就職内定率(※1)	95.5%	96.8%	95.9%	91.9%	80.9%
	進学者数(大学編入等)	18	14	12	27	20
	卒業生数	238	232	226	215	217
	就職率(※2)	77.3%	83.0%	75.7%	66.5%	64.5%

就職内定率(※1)＝就職決定者数÷就職希望者数 就職率(※2)＝就職決定者数÷(卒業生数－進学者数)

※法学部2部及び経済学部2部は除く



## ■ 2010年度卒業生就職状況

(単位:人)

区 分		法学部		経済学部		経営学部		現代中国学部		国際コミュニケーション学部		文学部		短期大学部	総 計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女			
就職状況	規模別	超大企業	26	20	30	7	39	23	9	12	5	20	5	11	13	114	106		
		巨大企業	41	11	37	8	47	14	14	9	13	31	15	24	3	167	100		
		大企業	20	7	46	14	29	12	15	10	6	22	13	18	9	129	92		
		中企業	39	20	77	17	83	20	18	18	19	44	24	30	37	260	186		
		小企業	14	10	31	8	25	13	4	7	11	22	7	17	47	92	124		
	地域別	北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		東北	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
		関東	28	27	33	9	47	19	10	10	7	25	10	25	8	135	123		
		北陸	1	1	9	3	7	0	2	0	1	3	1	0	0	21	7	7	
		甲信	1	0	2	1	1	0	0	0	3	2	1	4	0	8	7	7	
		岐阜県	21	8	12	2	24	10	9	5	2	8	4	6	0	72	39	39	
		静岡県	5	2	24	8	5	3	0	0	4	18	7	21	12	45	64	64	
		愛知県	124	49	167	32	140	46	42	39	41	97	68	66	106	582	435	435	
		三重県	8	3	7	2	7	7	1	3	3	2	1	4	0	27	21	21	
		近畿	10	3	4	0	14	5	2	3	3	2	8	4	1	41	18	18	
		中国	2	0	3	0	2	1	0	0	0	1	0	1	0	7	3	3	
		四国	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
		九州	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0	0	
		海外	0	0	0	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	1	5	5	
		業種別	建設業	6	2	18	0	7	6	2	2	2	1	1	0	8	36	19	19
			製造業	20	7	37	11	47	15	11	15	8	23	10	11	25	133	107	107
			電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	4	4	4	4
	情報通信業		9	1	8	0	12	1	0	1	1	0	3	5	1	33	9	9	
	運輸業		15	4	10	1	10	3	11	4	5	4	3	6	0	54	22	22	
	卸売業・小売業		34	13	65	7	68	20	22	19	24	34	23	29	35	236	157	157	
	金融・保険業		31	19	57	16	53	19	9	12	4	21	9	13	7	163	107	107	
	不動産業		2	5	3	4	4	4	0	0	1	3	0	3	3	10	22	22	
	飲食店・宿泊業		2	0	4	0	2	4	4	1	2	6	4	2	4	18	17	17	
	医療・福祉		1	4	5	4	2	4	2	2	2	6	1	11	19	13	50	50	
	教育・学習支援業		4	2	6	3	8	3	1	0	3	14	13	18	2	35	42	42	
	複合サービス業		3	7	5	1	2	4	0	2	1	4	1	4	4	12	26	26	
	その他のサービス業		15	13	16	9	18	5	2	5	5	37	12	20	14	68	103	103	
	国家公務員・地方公務員		58	15	28	2	11	3	5	0	4	5	20	8	1	126	34	34	

※判明分のみ集計

## 入学金・授業料

### ■ 2011年度学生納付金 (2011年度入学生)

#### 愛知大学

(単位:円)

学部等	入学金	授業料	教育充実費
法学部	200,000	670,000	250,000
経済学部	200,000	670,000	200,000
経営学部	200,000	670,000	200,000
現代中国学部	200,000	710,000	200,000
国際コミュニケーション学部	200,000	710,000	200,000
文学部	200,000	710,000	200,000
地域政策学部	200,000	710,000	200,000
大学院	200,000	560,000	170,000
法科大学院	200,000	1,050,000	300,000
会計大学院	200,000	1,050,000	300,000

#### 備考

- 1 入学金は、入学手続時に納入する。
- 2 授業料及び教育充実費は、上表に定める金額の2分の1を定められた納期までに納入する。
- 3 文学部人文社会科学科心理学専攻は、第1項及び第2項の学費のほか2年次より毎年実験実習費60,000円を納入する。
- 4 文学部人文社会科学科の次の専攻は、第1項及び第2項の学費のほか2年次に次の調査実習費を納入する。  
現代社会学及び行動社会学専攻 20,000円 日本史学及び世界史学専攻 3,000円  
地理学専攻 10,000円
- 5 現代中国学部は、第1項及び第2項の学費のほか2年次に次の実習費を納入しなければならない。  
ただし、中国語を母語とする外国人留学生は、この限りではない。  
現代中国学部実習費 250,000円

#### 愛知大学短期大学部

(単位:円)

学部等	入学金	授業料	教育充実費
ライフデザイン総合学科 (長期履修コース)	200,000 (200,000)	640,000 (1・2・3年次 430,000)	210,000 (210,000)

#### 備考

- 1 入学金は、入学手続時に納入する。
- 2 授業料及び教育充実費は、上表に定める金額の2分の1を定められた納期までに納入する。
- 3 ライフデザイン総合学科の長期履修コースの授業料については、2年コースで入学した場合の2年間の授業料の総額を3年間で納入するものとする。  
1年次 430,000円 2年次 430,000円 3年次 430,000円



## 豊橋キャンパス

Toyohashi Campus

### 設置学部・学科

- 経済学部  
経済学科
- 国際コミュニケーション学部  
言語コミュニケーション学科  
比較文化学科
- 文学部  
人文社会学科
- 地域政策学部  
地域政策学科
- 短期大学部  
ライフデザイン総合学科
- 大学院  
経済学研究科  
国際コミュニケーション研究科  
文学研究科

### 豊富な緑に囲まれた 広大なキャンパス。

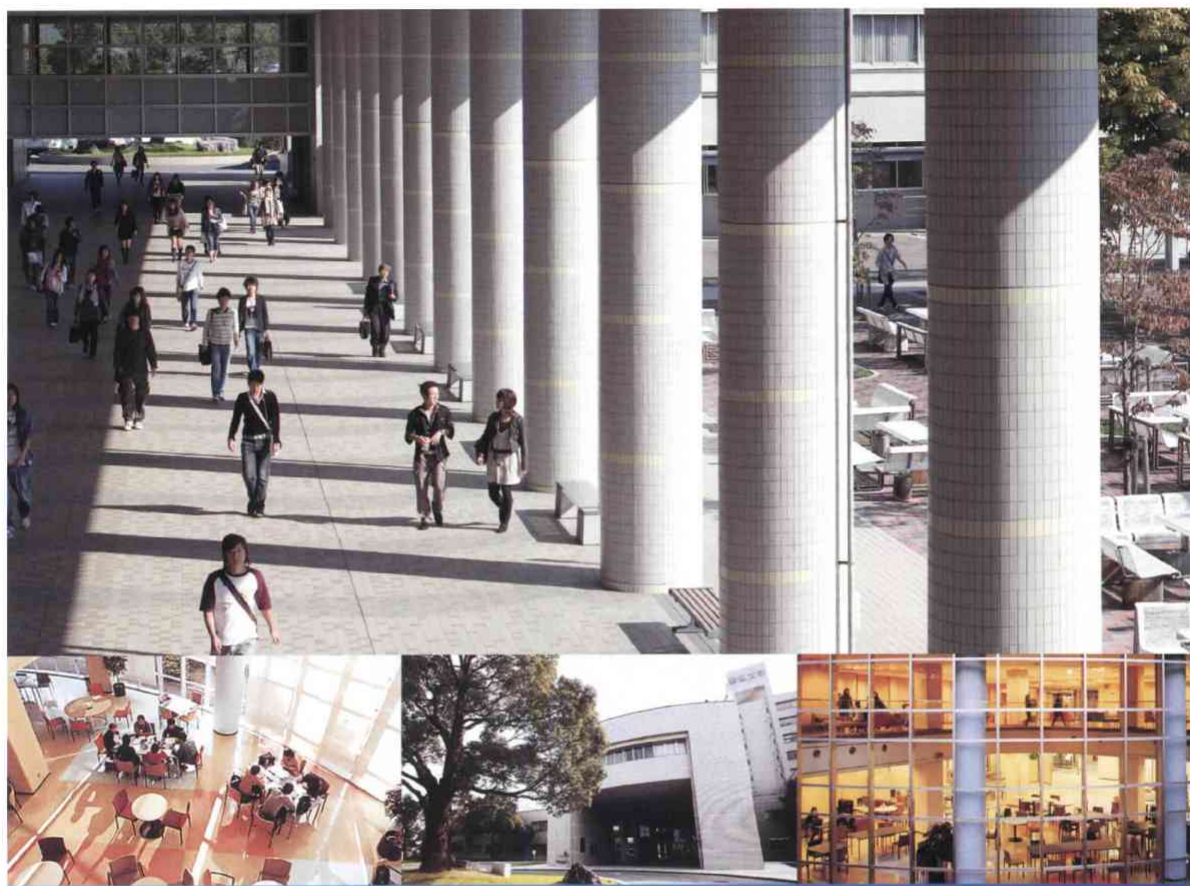
1946年、愛知大学はここから始まりました。伝統と格式を感じさせる建造物には、65年の英知が蓄積され、地域社会の知のシンボルとなっています。最先端の自動車・機械産業から農業・漁業まで、多様な地域産業と共に歩み、実践的な学びを展開しています。

### アクセス

名古屋	JR 50分							
浜松	JR 35分	豊橋	徒歩 すぐ	新豊橋	渥美線 6分	愛知 大学前	下車 すぐ	豊橋 キャンパス
名鉄 名古屋	名鉄 50分							

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1





## 名古屋キャンパス

Nagoya Campus

### 設置学部・学科

- 法学部(1、2年次)  
法学科
- 経営学部  
経営学科  
会計ファイナンス学科
- 現代中国学部  
現代中国学科
- 大学院  
法学研究科  
経営学研究科  
中国研究科

### 学生生活を充実させる 開放的かつ機能的なキャンパス

豊かな自然にあふれ、建物と調和のとれたキャンパス。1988年に開校され、約20万m<sup>2</sup>の広大な敷地には教室棟と研究館、図書館、カフェテリアなどがバランスよくレイアウトされています。

### アクセス

名古屋	地下鉄 東山線	伏見	地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線 30分		
名古屋	地下鉄 桜通線	御器所	地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線 21分	黒笹	スクールバス 3分
豊橋	名鉄 名古屋本線	知立	名鉄 三河線	豊田市	名鉄 豊田線
					名古屋 キャンパス

〒470-0296 愛知県みよし市黒笹町清水370





## 車道キャンパス

Kurumamichi Campus

### 設置学部・学科

- 法学部 (3、4年次)  
法学科
- 専門職大学院  
法務研究科 (法科大学院)  
会計研究科 (会計大学院)
- 大学院  
経営学研究科  
(社会人リフレッシュ・コース)

### 高度な専門知識の習得を サポートする充実の施設。

名古屋駅から10分の都市型高層キャンパス。高度な法学教育と地域に開かれた社会人教育の拠点としての機能を果たしています。先進のIT設備、24時間利用型のロースクールスペースなどを整え、新しい時代のための新しい大学教育をめざします。

### アクセス



〒461-8641 愛知県名古屋市中区簡井2丁目10-31

2012年4月 開校予定



高層棟は2015年完成予定です。



## 新名古屋キャンパス

Nagoya Campus in Sasashima

設置学部・学科(2012年4月予定)

- 法学部  
法学科
- 経済学部  
経済学科
- 経営学部  
経営学科  
会計ファイナンス学科
- 現代中国学部  
現代中国学科
- 国際コミュニケーション学部  
言語コミュニケーション学科  
比較文化学科

### 名古屋駅

#### ささしまライブ24地区に開校。

先進的な企業や国際機関などが集中する名古屋駅エリアに誕生する学びの拠点。都市や時代のダイナミズムを体感しながら学ぶことができます。建学の精神である「地域貢献」「国際貢献」のさらなる充実により、次代を担う人材がここから羽ばたいていきます。

#### アクセス



名古屋駅ささしまライブ24地区(愛知県名古屋市中村区)



## ■ 研究機関

### 国際問題研究所

設立:1948年6月24日  
http://leo.aichi-u.ac.jp/~aiia/

国際的視野を重視する建学の精神に基づき創立直後に設立された、60年の歴史を有する研究所。中国をはじめとするアジアと欧米などを対象にして、国際関係や特定の国の政治、経済、文化、思想、歴史および国際機関などについて研究しています。



### 総合郷土研究所

設立:1951年6月11日  
http://www.aichi-u.ac.jp/kyodoken/

東海地方の文化、歴史、社会の研究のために設立され、文学、歴史学、社会学、地理学、環境系諸科学など多面的な見地からさまざまな検証を試みています。現在は東海5県（愛知・岐阜・三重・静岡・長野）を対象に、より総合的な研究を進めています。



### 中部地方産業研究所

設立:1953年3月1日  
http://www.chusanken.jp/

中部地方は、自動車関連の輸出産業で名高い中京工業地帯と、農林業が盛んな山間地域とが共存しています。その経済発展が抱えている諸問題を、産業・経済・社会といった科学的な角度から実証的に調査研究。本研究所における研究成果をまとめた刊行物は、各界から高い評価を受けています。



### 中日大辞典編纂所

設立:1955年4月1日  
http://leo.aichi-u.ac.jp/~jiten/

“日中友好の橋、学术交流の船”と称される『中日大辞典』の編纂は、愛知大学と中国との深い関わりを象徴するものです。創設以来、東亜同文書院の伝統を継承する中国研究、中国語研究の成果の一端を『中日大辞典』として公表。2010年に大改訂を経て、第三版が刊行されています。



### 経営総合科学研究所

設立:1962年4月1日  
http://leo.aichi-u.ac.jp/~keisoken/

本研究所は当初、「経営会計研究所」として企業経営・会計経営の理論と実務の研究、企業経営の指導、実務家の養成を目的に開設されました。その後、目まぐるしい社会情勢の変化に対応して多様化した経営学研究をさらに発展させる立場から、1990年に名称を変更し現在に至っています。



### 東亜同文書院大学記念センター

設立:1993年5月30日  
http://www.aichi-u.ac.jp/orc/index.html

本学の「生みの親」ともいえる東亜同文書院大学の研究教育の業績を明らかにするために、豊橋キャンパスに開設。関係資料に加え、孫文・辛亥革命と山田良政・純三郎関連資料などを所蔵し、3つの展示室に常設展示しています。2006年、文部科学省より「オープン・リサーチ・センター」として選定され、書院を継承した愛知大学史の研究も進められています。



### 国際中国学研究センター (ICCS)

設立:2002年10月1日  
http://iccs.aichi-u.ac.jp/

現代中国に関する国際的研究機関として開設。国内外の主要大学・研究機関と連携して現代中国研究推進のための国際学術ネットワークを構築しています。本センターの研究活動は、文部科学省「21世紀COEプログラム」に採択されるなど、高い評価を受けています。



### 三遠南信地域連携センター

設立:2004年10月1日  
http://senchp.aichi-u.ac.jp/

三遠南信地域に関わる研究教育事業ならびに産官学民の連携を推進するとともに、地域づくりネットワークの構築を通じて地域の活性化等 に貢献するための事業を行っています。GIS研究事業が文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択されるなど、積極的な研究活動を展開しています。





## 図書館

一般書から専門性の高い書籍まで、160万冊の蔵書を誇ります。特に中国・アジア関係の文献には希少価値をもつものも多く、各種の文庫や東亜同文書院調査旅行報告書などのコレクション類も所蔵されています。また、オンラインによるOPAC検索、国内外の各種データベース検索などITを駆使した環境も整っています。

<http://library.aichi-u.ac.jp/>



### 豊橋キャンパス図書館

利用時間 9:10～21:00

一般書から専門性に富んだ書籍まで、種類も豊富に取りそろえられています。また、メディアゾーンやAVコーナーなどを設置し、快適に学習できるよう配慮しています。



### 名古屋キャンパス図書館

利用時間 9:10～19:00

書籍・雑誌・AV機器・パソコンを結びつけた複合的な学習が可能。全館開架方式で気軽に本が探せる他、車道・豊橋キャンパスの蔵書も1～2日後には入手できるようになっています。



### 車道キャンパス図書館

車道 9:10～21:00

利用時間 法科・会計大学院 7:00～24:00

約15万冊を収蔵。立地の良さから卒業生や社会人からも利用されています。専門職大学院図書室の利用は院生のみとなっています。



蔵書数(2011年3月31日現在)

区分	国内書	外国書	合計	中国書 (外国書のうち)
豊橋	470,835	330,516	801,351	115,293
名古屋	266,984	228,531	495,515	67,443
車道	136,820	13,437	150,257	2,692
研究所・学会	119,829	83,898	203,727	64,165
計	994,468	656,382	1,650,850	249,593

図書費の推移(決算「図書支出の額」)

区分	図書費
2006年度	147,561,019
2007年度	151,136,284
2008年度	147,747,673
2009年度	122,670,951
2010年度	104,475,372

受入図書の推移

区分	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
国内書	29,243	23,423	24,064	18,682	18,117
外国書	9,823	12,123	10,122	7,216	7,732
計	39,066	35,546	34,186	25,898	25,849

図書館相互利用件数(2010年度)

区分	依頼	受付	計
豊橋	1,121	1,777	2,898
名古屋	460	824	1,284
車道	102	47	149
計	1,683	2,648	4,331

## ■ 奨学金制度

	名称	給付・貸与	対象・概要
経済援助目的	教育ローン援助奨学金	給付 (利子)	公庫等が取り扱う教育ローンを利用して、学費等(入学金を含む)を期限内に納入した場合を対象とする。
	愛知大学奨学金	貸与	向学心に優れ、経済的理由により学費の納入が困難な学生を対象とする。1年次生の出願受付は、秋学期からとする。卒業後10年以内に無利息で返還。
	応急奨学金	給付	入学後、主たる家計支持者の死亡・災害等によって家計が急変し、学業の継続が困難になった学生を対象とする。出願事由が発生した時から6ヵ月以内に申請のこと。
	奨学ローン援助奨学金	給付 (利子)	父母等が金融機関の保証人にならない学生に対して、大学が保証人となり、大学の提携する金融機関と学生本人が直接ローン契約を結び融資を受ける制度。
	(財)愛知大学同友会奨学金	給付	人物・成績ともに優れ、経済的理由により修学困難な学生を対象とする。給付は他の給付奨学金との併給不可。給付の採用人数は38名。
		貸与	強い修学意欲があり、経済的事由により修学困難な学生へ貸与する。返還は原則貸与を受けた年度末までとし、卒業年次生は12月末までとする。返還した場合は何回でも申請可。
		貸与	強い修学意欲があり、経済的事由により修学困難な学生へ貸与する。返還は卒業後5年以内。
スポーツ振興	愛知大学後援会応急奨学金	給付	愛知大学応急奨学金の給付期間終了後も、引き続き経済的理由により学業の継続が困難であり、また主たる家計支持者が死亡の場合。
	愛知大学スポーツ奨学金	給付	最重点クラブの中からスポーツ推薦入試に合格し、本学の選手として活躍が期待される者。毎年スポーツ競技成績について審査する。
	学業奨励金	給付	2年次生以上を対象に、前年度までに修得した科目の単位数及び成績を基準に、特に優秀な成績を修めた学生に対して給付。
	愛知大学後援会学業奨励金	給付	2年次生以上を対象に、前年度までに修得した科目の単位数及び成績を基準に、優秀な学生に対して給付。
入学試験時	愛知大学短期大学部後援会奨学金	給付	短大に在学する私費外国人留学生及び社会人学生の勉学を支援するため、一定修得単位数を満たす者、最短修業年限以内の者に対して給付される。
	愛知大学スカラシップ奨学生	給付	前期入試及びセンター試験利用入試(前期5教科型)の成績上位者に対して、授業料及び教育充実費の年額相当額を給付する制度。奨学生は、上位合格者の中から、合格者判定委員会の審査を経て、学長が決定する。2011年度より前期入試は68名を予定。センター利用(前期5教科型)は40名。入学後の成績により、2年次以降も継続給付する。
	愛知大学全国奨学生	給付	東海4県以外の国内高校出身で本学学部への入学を希望する者に経済支援を行い、勉学意欲の高い学生を募集する。一般入試出願前の申請により、入学後に給付を受けられることを事前に約束する。＜採用候補者数＞50名
	愛知大学渥友報恩(大分県)育英奨学金	貸与及び給付	大分県内の高等学校を卒業し、本学へ入学した者のうち原則として1名に対し、奨学金を貸与及び給付する。
就職支援	スカラシップ生 公務員志願者奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	前期及びセンター試験5教科スカラシップ生の中で、卒業後国家公務員・地方上級公務員を目指す学生に対し、公務員講座を無料で受講できる特典を提供する。
	新入生公務員志願者 選抜奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	卒業後国家公務員・地方上級公務員を目指したい1年生を対象に、1年生の6月に5教科の試験(国数英社理)を実施する。成績優秀であった学生には、以下の講座を無料で受講できる特典を提供する。(テキスト代は実費) 《名古屋・車道校舎》2年次「行政書士講座」、3年次「公務員講座(総合コース)」 《豊橋校舎》2年次「宅地建物取引主任者講座」、3年次「公務員講座(総合コース)」
	学業奨励学生公務員志願者 奨励制度	給付 (講座受講料の無料化)	2年生時の成績を基準とした学業奨励学生の中で、国家公務員・地方上級公務員を目指したい学生を対象に、3年生からの公務員講座を無料で受講できる特典を提供する。(テキスト代は実費)
	公務員志願者選抜奨学制度	給付 (講座受講料の無料化)	3年生4月に実施する選抜試験(公務員模擬試験)での高得点者、及び行政書士試験合格者を対象に、3年生からの公務員講座を受講で受講できる得点を提供する。(テキスト代は実費) 2年生時における公務員学習のモチベーションの高揚を促し、早くから学習をする学生を支援。
	公務員試験合格者奨励制度	給付	本学在学中に公務員試験に合格し、その機関に就職することを条件に奨励金を授与する。3月初旬に、愛知大学後援会、同窓会との共催の奨励金授与式に表彰する。
	キャリア開発講座合格奨励制度	給付	キャリア開発講座の受講生で、受講した国家資格などの合格者を対象に、その難易度に応じて奨励金として図書カードを授与するもの。



奨学金に関する情報は、愛知大学公式ホームページ(<http://www.aichi-u.ac.jp/life/support.html#c1>)も参照してください。

	名称	給付・貸与	対象・概要
留学する在学生対象	外国留学に関する奨励金 (交換留学奨励金)	給付	「学生の外国留学に関する規程」に基づき留学する者で、「学生の外国留学に関する奨励金規程」第2条(1)交換留学をする者で留学先の学費等が全額免除となる場合、に該当する者 ※ただし、日本学生支援機構留学生交流支援制度(短期派遣)奨学金採用決定者を除く。 (2011年度以降留学生に適用)
	外国留学に関する奨励金 (認定留学奨励金)	給付	「学生の外国留学に関する規程」に基づき留学する者で、「学生の外国留学に関する奨励金規程」第2条(2)認定留学をする者、に該当する者 ※ただし、日本学生支援機構留学生交流支援制度(短期派遣)奨学金採用決定者を除く。 (2011年度以降留学生に適用)
留学生対象	私費外国人留学生 学習奨励金	給付	愛知大学に在学する私費外国人留学生のうち、学習意欲のある者に給付する。奨学金を受けることのできる者。 1) 学部・院・短大の正規課程に在学する私費外国人留学生。休学中の者を除く。 2) 最短修業年限以内の者。休学期間は最短修業年限に算入しない。 3) 学部及び短期大学部生は「私費外国人留学生学習奨励規程」に定める成績の基準を満たす者。 4) 大学院生は指導教授の推薦がある者。 ※他の奨学金との併給不可
	私費外国人留学生 学習奨励規程(大学院)	給付	・ 本学の学部、大学院及び短期大学部の正規課程に在学する私費外国人留学生である者。 ただし、休学中の者を除く ・ 大学院学生は、指導教授の推薦のある者。
	外国人留学生入学試験 スカラシップ奨学金	給付	愛知大学外国人留学生入試(※)を受験し、学部及び短期大学部に入学する学生で、日本留学試験(日本語)において320点以上の成績を取得し、入学年度に奨学金の給付申請をした者。 ※対象となる入学試験は愛知大学外国人留学生入試、愛知大学外国人留学生渡日前入試、愛知大学外国人留学生推薦入試。
	愛知大学後援会 私費外国人留学生給付奨学金	給付	学業優秀あるいは経済的に修学が困難であると認められる者に給付する。ただし奨学金授与式に出席できる者に限る。対象人数は全学部で35名。
	愛知大学大学院学生研究奨励金	給付	学業成績及び研究成果が優れ、指導教授より推薦のあった者には、大学院委員会の議を経て奨励金が交付される。
大学院生・専門職大学院生対象	専門職大学院給付奨学金 (法科・会計)	給付	入学試験に優秀な成績で合格した学生。学年終了後、毎年、教授会において資格の継続審査を行う。
	専門職大学院貸与奨学金 (法科・会計)	無利子貸与	成績が優秀で経済的に就学が困難と認められる者を対象とする。貸与奨学金は、学期(セメスター)を単位に貸与するものとし、1年度(2セメスター)を限度とする。ただし、次年度以降もあらためて出願することができる。卒業後10年以内に無利息で返還。
	(財)愛知大学同友会 法科大学院特別奨学金	給付	学業優秀であり、大学院修了後の進路を明確に持つ者、法務研究科教授会から推薦のあった者が対象。法務研究科教授会で候補者を選考し、同友会に推薦する。
	(財)愛知大学同友会 会計大学院特別奨学金	給付	学業優秀であり、大学院修了後の進路を明確に持つ者、会計研究科教授会から推薦のあった者が対象。会計研究科教授会で候補者を選考し、同友会に推薦する。
	地域貢献奨学金(法科のみ)	「専門職大学院貸与奨学金」 の返還免除	地域に密着し貢献する法曹人の養成を目的として、法科大学院を修了した弁護士に対し、奨学金の返還を免除する制度。入学志願者の希望者の中から、候補者を選考。対象者は法科大学院を修了する意思のある者、専門職大学院貸与奨学金を利用する者、弁護士資格を取得した後に法律事務所等で3年程度の実務経験を積んだ上で、弁護士過疎地域内にある法律事務所、あるいは独立行政法人司法支援センター(法テラス)の地方事務所に3年間赴任する意思のある者が申請することができる。
	学費サポートプランの利用及び 同奨学金(法科のみ)	給付(利子)	経済的理由により学費サポートプランを利用しなければ学費を納付できない者が利用できる。利用限度額は法科大学院修了までに本学に納入すべき学費相当額。
	大学院中国研究科デュアルディグリー・ プログラムスカラシップ奨学金		中国研究科博士後期課程または修士課入学試験のデュアルディグリー・プログラム上位合格者の中から中国研究科委員会が審査。
	大学院中国研究科 中国分拠点学生奨学金	給付	中国研究科博士後期課程分拠点における入学試験合格者(日本人は除く)の中から中国研究科委員会が審査。
	特定非営利活動法人(NPO法人) ロースクール奨学金ちゅうぶ(法科のみ)	給付	NPO法人ロースクール奨学金ちゅうぶに出願し、大学の推薦を参考にNPO法人が奨学生を選考。



## ■ 学生支援機関・施設

### 情報メディアセンター

現在、情報メディアセンターには3キャンパス合計で約900台のパソコンがあり、すべてがインターネットに接続され、電子メールやネット検索をすることができます。授業以外にも、課題レポートや卒業論文の作成、ソフトウェア講習会、資格取得講座など、幅広く利用されています。さらに、e-ラーニングを主とした授業や講習会なども用意されています。



### 学習・教育支援センター

学生の学習活動及び教員の教育活動を支援し、大学教育の充実と発展に寄与することを目的として、豊橋キャンパス及び名古屋キャンパスに「学習・教育支援センター」を、車道キャンパスに同センター分室を設置。アドバイザーによる履修相談や学習上の指導など、学生を支援しています。



### 学生相談室

学生相談室は、すべてのキャンパスに設置され、学生生活を送っていく上でのさまざまな問題や悩みについて一緒に考えて、サポートしています。相談員は複数で、臨床心理士・教員・精神科医師が適切な情報を伝えたり、心理カウンセリングをします。



### 語学教育施設

LL自習室は、英語や多様な外国語の教材、検定試験用資料などが豊富にそろい、自主学習に最適な環境が整っています。また、学内のパソコンでe-Learningによる英語学習も可能です。じっくりと語学に取り組むことができます。



## ■ クラブ・サークル名一覧

### 体育系

#### 豊橋キャンパス

##### 体育会

- アメリカン・フットボール部
- 応援団
- 空手道部
- 弓道部
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式ソフトボール部
- 硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サイクリング部
- サッカー部
- 自動車部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレーボール部
- 女子ハンドボール部
- 女子ラクロス部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バレーボール部
- 男子ラクロス部
- 軟式野球部
- 日本拳法部
- 馬術部
- ハンドボール部
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部

#### 名古屋キャンパス

##### 体育会

- アメリカン・フットボール部
- カヌー部
- 空手道部
- 競技スキー部
- 剣道部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 自動車部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 少林寺拳法部
- 水泳部
- 漕艇部
- ソフトテニス部

#### 卓球部

- 中国武術部
- トライアスロン部
- 軟式野球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フィギュアスケート部
- モーターサイクル部
- 洋弓部
- ライフル射撃部
- ラグビー部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 陸上競技部

#### 豊橋キャンパス 短大

##### 運動部

- 少林寺拳法部
- ソフトテニス部
- 女子バレーボール部
- 女子ラクロス部
- 卓球部
- 馬術部

#### 豊橋キャンパス

##### 学研連

- Wish
- 英語会話研究 (E.S.S)
- 会計学研究会
- クイズ愛好会
- 経営学研究会
- 経済学研究会
- 考古学研究会
- 広告研究会
- 国際問題研究会
- 国文学研究会 (JLC)
- コント研究会
- 社会科学研究会
- 証券研究会
- 心理学研究会
- タイ研究会
- 中国語会話研究会
- 中国語文研究会
- 中国武術研究会
- 中国問題研究会
- 哲学研究会
- 野宿研究会
- プロ野球研究会
- 歴史科学研究会

##### 文芸連

- アカベラサークルVMC2
- 映画研究会
- 演劇研究会
- 音楽研究会
- 観光事業・ローカル旅行研究会
- ギターアンサンブル
- キャンパスマガジンらじゃん
- 軽音楽部
- 児童文化研究会
- 写真研究会
- 吹奏楽団
- 創作研究会
- 美術部
- フォークソング研究会 (TFA)
- フォークダンス部
- 舞踏研究会
- 邦楽研究会
- 漫画研究同好会
- ミステリー同好会
- モダン・ジャズ研究会
- 落語研究会
- B.P.M (Black People Movement)

### 文化系

#### 連合会未加盟の団体

- 天守名所研究会
- FAC (フィールド・アスレチック・クラブ)
- 木曜フットサル
- C.S.C (クリエイティブ・スポーツ・カンパニー)
- ゲレンデスキー愛好会
- 情報処理研究クラブ (IPC)
- 豊橋日曜学校 (TSS)
- バスケットボールを楽しむ会
- バドミントンを楽しむ会
- スポーツ研究会
- GINGA (ジンガ)
- 軟式野球愛好会
- リバーフローティングクラブ
- リンダY2
- ソフトボール愛好会
- ATT (アドバンテージテニスチーム)
- 和太鼓サークル
- 盤上ゲーム同好会
- PTA (Party Through the world Association)

#### 連合会外自治団体

- 愛大祭実行委員会
- 愛知大学卒業アルバム委員会
- 学生論叢編集委員会
- 新聞会
- 生協学生委員会

#### 名古屋キャンパス

##### 文化連

- A.U.C.C (Aichi University Computer Club)
- A.U.F (Aichi University Flea Market)
- 英会話研究会 (ESS)
- ecoB・G
- 音楽愛好会
- 会計学研究会
- ギターアンサンブル部
- 軽音楽部 (ブルース・ジャズ・オーケストラ)
- 現代音楽研究会 (アフターアワーズ)
- 茶道研究会
- 写真研究会
- 創作画研究会
- 二胡部「知音」
- B.P.M (Black People Movement)
- プロ野球研究会

- メンネル・コール
- 留学生交流会
- 日本フード研究会
- ローカル旅行愛好会
- 国際協力サークルSEED

#### 連合会外自治団体

- 愛大祭実行委員会
- 新聞会
- 生協学生委員会 (AU.NOIS)

#### 連合会未加盟の団体

- 法学研究会 (愛法会)
- F.C. スプロケット (サッカー)
- ゴールデンサンズ (バスケットボール)
- Twist (テニス等)
- ファンタチオ (フットサル)
- 愛P
- 愛大ソフトボールサークル
- ローリーズ (法学部学生リフレッシュ委員会)
- ベイブ (軟式野球)
- 213.com (軟式野球)
- サイパンF.C (フットサル)
- F.C. チュッパ (サッカー)
- A.B.C. (Aichi Band Circle)
- パティ (バドミントン)
- MATCH (スポーツは何でも)
- Mickey's (ボランティア)
- Piece of music (音楽)
- MARKY'S (音楽)
- Vol Box (演芸)
- タッチ☆ねっつ (バレーボール)
- 愛華倶楽部

#### 豊橋キャンパス短大

##### 文化部

- 茶道部
- 創作研究会
- 煎茶道研究会
- PCS (パソコンサークル)
- 児童文化研究会







## 資産状況／土地・建物面積

### ■ 資産状況

(単位:円)

年 度	総資産	総負債	基本金	消費収支差額
2010	52,550,684,611	12,108,514,800	47,604,765,018	△ 7,162,595,207

### ■ 資金収入と帰属収入の推移

(単位:円)

年 度	資金収入	帰属収入	経常費補助金収入
2010	19,848,016,490	11,491,976,119	1,014,281,000
2011(予算)	22,582,455,000	10,838,918,000	900,000,000

### ■ 土地 (2011年3月31日現在)

土地412,893㎡(実測)〔自有305,119㎡ 借用107,774㎡〕

用途区分	愛知大学専用	大学短大共用	計
校舎敷地	82,920㎡ (29,687㎡)	54,575㎡	137,495㎡ (29,687㎡)
図書館敷地	4,340㎡ (3,892㎡)	13,172㎡	17,512㎡ (3,892㎡)
運動場	80,114㎡ (24,959㎡)	72,845㎡	152,959㎡ (24,959㎡)
体育施設敷地	4,299㎡ (669㎡)	9,098㎡	13,397㎡ (669㎡)
その他	62,121㎡ (38,344㎡)	29,409㎡ (10,223㎡)	91,530㎡ (48,567㎡)
計	233,794㎡ (97,551㎡)	179,099㎡ (10,223㎡)	412,893㎡ (107,774㎡)

備考 ( )内は借用土地を内数で示す。

### ■ 建物 (2011年3月31日現在)

自有135,332㎡(登記)

用途区分	愛知大学専用	愛知大学短期大学部専用	共用	計
一般校舎	58,924㎡	2,763㎡	24,614㎡	86,301㎡
図書館	7,461㎡	—	6,812㎡	14,273㎡
体育館	3,579㎡	—	3,878㎡	7,457㎡
その他	20,845㎡	1,723㎡	4,733㎡	27,301㎡
計	90,809㎡	4,486㎡	40,037㎡	135,332㎡

愛知大学要覧2011 (非売品)

2011年6月印刷 2011年6月17日発行

[発行] 愛知大学 企画・広報課

〒441-8522 豊橋市町畑町1-1 TEL.(0532)47-4111(代)



- ▶ **豊橋キャンパス**  
(愛知県豊橋市)  
「豊橋」駅より、豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」駅隣接  
「名古屋」駅より約60分、「豊橋」駅より約6分
- ▶ **名古屋キャンパス**  
(愛知県みよし市)  
名鉄豊田線「黒笹」駅下車 スクールバス3分  
「名古屋」駅より約40分
- ▶ **車道キャンパス**  
(名古屋市東区)  
地下鉄桜通線「車道」駅下車、徒歩すぐ  
「名古屋」駅より約10分(地下鉄桜通線利用)
- ▶ **新名古屋キャンパス**  
(名古屋市中村区)  
鉄道 「名古屋」駅より、あおなみ線「ささしまライブ」駅下車、徒歩2分  
※駅改札口から大学まで「歩行者デッキ」で直結  
[2012年4月開校予定]  
徒歩 「名古屋」駅より約10分

**愛知大学**  
AICHI UNIVERSITY

[豊橋キャンパス] 〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1  
[名古屋キャンパス] 〒470-0296 愛知県みよし市黒笹町清水370  
[車道キャンパス] 〒461-8641 愛知県名古屋市東区筒井2丁目10-31  
[東京事務所] 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-1 霞が関コンゲート西館37階